

科目名	宗教哲学特殊研究	担当者	コサカ 小坂 クニツグ 国継	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	-------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>宗教と倫理はもっとも近接した領域です。倫理をもたない宗教はないし、宗教とまったくかかわることのない倫理というものもありません。このように宗教と倫理は相互に密接に関連していますが、しかし同時に、両者の間には根本的に相容れないいくつかの要素があります。この講座は、宗教と倫理の異同について、種々の文献をもとにし、さまざまな観点から比較・対照することを通して、宗教の本質を明らかにし、宗教と倫理や道徳との違いを明確に理解することを目的としています。また、それと関連して、人生の意義や人間の生き方について、真剣に、かつ主体的に考えることを眼目としています。</p>		
到達目標	<p>前期は、基本教材1にしたがって、宗教と倫理の根本的な差異を理解するよう努力してください。テキストに取り上げられた、さまざまな経典や著作を参考にしながら、自分の意見が述べられるように努めてください。</p> <p>後期は、基本教材2にしたがって、東洋的な「無為自然」の生き方について知識を深め、そのさまざまな類型のなかから、自分がとくに興味をもった思想家について、自分自身の視点から意見を述べられるように努めてください。</p>		
学修方法	<p>基本教材を読みこなすにはかなりの時間がかかると思われます。早めに読み始め、いくつかの参考書などを併読することを勧めます。疑問点が生じたら、分からないままに放置しないで、そのつどメールで気軽に質問をしてください。できるだけ早く返事をいたします。</p> <p>哲学はほかの学問と違って、文章がなかなか難しく、専門用語が理解しづらいと思います。哲学辞典や宗教学辞典などを傍にしながら、繰り返しテキストを読み返すことを勧めます。</p>		
スケジュール	<p>独立大学院事務課から指定されるレポート締め切り期間に留意して、最終原稿は指定期間内に提出できるようにしてください。</p> <p>レポートの締め切り間際になってから初稿を提出されると、添削が行き届かない場合も生じます。初稿はなるべく夏休み中ごろまでに仕上げるようにしてください。何ごとも早め早におこなうことが肝要です。</p> <p>以上のことは、後期のレポートについても同様です。冬休み前には、「東洋的な生き方」を自分なりに会得できるよう努力してください。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	①基本教材をよく勉強しているか、②レポートの内容が首尾一貫しているか、③単なる思いつきではなく、書いている内容の裏づけがあるか、④論旨が明快であるか、⑤日本語の文章として美しいか、等の観点から総合的に評価します。
	平常評価	20%	メールでの質疑応答や草稿の提出回数の多寡、あるいはメールのやりとりなどを通して窺われる研究態度などが評価の対象になります。
履修者への要望	<p>履修者は2つのレポートのテーマを自分で選択できますが、自分が選択しなかったテーマについての自分の知識や考えを何らかの形でレポートのなかに反映させるように配慮するのが望ましい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 小坂国継 教材名： 『倫理と宗教の相剋』（ミネルヴァ書房，2009年）ISBN:978-4-623-05518-0 3,500円+税 宗教と倫理の異同について、『ヨブ記』『歎異抄』カントの道德神学，ニーチェの生の哲学，キルケゴールの実存哲学，ロールズの『正義論』などを手がかりに，さまざまな側面から考察したものです。この方面の数少ない文献の一つで，宗教の本質を知る上で有益な著作だと思います。
参考図書	参考図書として多数の文献をあげることができます。その一々を紹介することはできませんが，インターネットで検索し，実際に書店で手に取ってみて，自分のニーズにあったものを読まれるとよいと思います。
履修上のポイント	まずテキストを熟読し，その上でテキストの各章のテーマに該当する啓蒙的な参考図書を自分で調べて読んでください。その上で，必要だと思われる場合は，特定の専門的な研究書を読むことを勧めます。こうして十分な準備を整えてから，最後に，自分の意見をまとめるようにしてください。レポートの作成にあたっては，与えられたテーマに対して自分の考えを述べるという主体的な姿勢を崩さないようにしてください。
レポート課題 1	「宗教と倫理の異同について論じなさい」（1）。テキストの一つの章あるいは関連する複数の章を手がかりにしながら，自分の考えを述べなさい。
レポート課題 2	「宗教と倫理の異同について論じなさい」（2）。 レポート課題（1）とは別の著作あるいは思想家を選択すること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 小坂国継 教材名： 『東洋的な生き方』（ミネルヴァ書房，2008年）ISBN:978-4-623-05139-7 3,500円+税 人間中心主義的な西洋とは違った，無為自然の東洋的な生きかたを，老子，荘子，親鸞，道元，良寛の生涯や思想を手がかりに，種々の側面から考察したものです。同じく「無為自然」といっても，さまざまな買い形態があることを明らかにするのが，本書の目的の一つになっています。
参考図書	参考図書として多数の文献をあげることができます。その一々を紹介することはできませんが，インターネットで検索し，実際に書店で手に取ってみて，自分のニーズにあったものを読まれるとよいと思います。
履修上のポイント	まずテキストを熟読し，その上でテキストの各章のテーマに該当する啓蒙的な参考図書を自分で調べて読んでください。その上で，必要だと思われる場合は，特定の専門的な研究書を読むことを勧めます。こうして十分な準備を整えてから，最後に，自分の意見をまとめるようにしてください。レポートの作成にあたっては，与えられたテーマに対して自分の考えを述べるという主体的な姿勢を崩さないようにしてください。
レポート課題 1	「東洋的な生き方について論じなさい」（1）。テキストの一つの章あるいは関連する複数の章を手がかりにしながら，自分の考えを述べなさい。
レポート課題 2	「東洋的な生き方について論じなさい」（2）。 レポート課題（1）とは別の著作あるいは思想家を選択すること。